

A-1 退院前訪問指導方法の新しい取り組み

～「e家カルテシステム」導入と使用方法について～

医療法人社団KNI 北原リハビリテーション病院 牛山奈緒子（ウシヤマナオコ）
医療法人社団KNI 北原リハビリテーション病院
平井優介（ヒライユウスケ） 清水優子（シミズユウコ）
野澤雅美（ノザワマサミ） 久保直子（クボナオコ）
田中優子（タナカユウコ） 峯尾舞（ミネオマイ）
株式会社 HI-S0（ハイソ） 本村幹男（ホンムラミキオ） 前田圭一郎（マエダケイイチロウ）

当院は回復期リハビリテーション病院であり、自宅退院を目指す患者様が多く入院していることから、退院前訪問指導（以下：家屋評価）を行っています。しかし、1）計画書・報告書は文章での説明が多く、患者や家族、ケアマネージャーに対して、視覚的なイメージが伝わりづらいものであること。2）規定の書式が無く、作成方法も個人で異なるため、非効率で時間を要し、また書類の完成度も統一されていないことが課題となっていました。今回「見える退院前訪問指導方法」、「業務の効率化」を目的に、株式会社 HI-S0 様と「e家カルテシステム」の共同開発、家屋評価への導入を行いました。

現場で画像を撮影・編集し、e家カルテシステムに取り込んで、印刷用フォーマットで作成することが出来るため、パソコン上での作成時間が短縮されました。またスタッフによる個人差が少なくなったことや、iPad上の家カルテにて改修案を提示することで視覚的に分かりやすいものを提示することが可能となりました。

発表当日は、実際にiPad上の家カルテを用いて、家カルテの使用方法等をお伝えできればと思います。ぜひ使用してみて、ご感想をお聞かせ下さい。